

大豆島地区住民自治協議会だより

2023年1月



大豆島地区住民自治協議会スローガン

まめやか大豆島 ふれあう笑顔

NO.47



ホームページ www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/mamejima/473994.html (長野市 HP 内)

ながのご縁を
信都・長野市

ブログ <http://mamejima.naganoblog.jp/>

発行者：大豆島地区住民自治協議会



謹賀新年

本年もよろしくお願ひ申し上げます



9月17日（土）大豆島地区合同防災訓練を実施しました

昨年同様、新型コロナウイルスの感染防止のため、参加人数を制限させていただき、各区での訓練を実施した後、7地区自主防災会の合同防災訓練を行いました。

各区での訓練は水害を想定し、各区及び大豆島地区対策本部の設置訓練、防災無線の放送訓練、各区と大豆島地区対策本部とのトランシーバーによる情報伝達訓練、土嚢の取扱訓練等を行いました。

大豆島公園で行われた合同防災訓練では、防災施設（防災倉庫・防災トイレ・かまどベンチ）を消防団大豆島分団・防災指導員の説明による見学と、赤十字奉仕団による炊き出しの実地訓練を行いました。

その後、大豆島市民センター多目的ホールで防災講話をお聞きしました。

〔防災講話〕

講師 長野市危機管理防災課 課長補佐 高野晃弘 様

演題 「水害における初動体制の確保」



防災倉庫の見学



かまどベンチ



赤十字奉仕団による炊き出し



防災講話



大豆島地区戦没者慰霊祭を更級神明大神社慰霊碑にて行いました

10月14日（金）、ご遺族、ご来賓及び区長会約30名の参列のもと、武井神社宮司の「慰霊の祝詞」の奏上により、戦争で亡くなられた方々に追悼の意を捧げ、平和を祈念いたしました。

里山ファン支援事業



この事業は、長野市が推進する中山間地域との交流事業であり、里山環境の保全・獣害対策の力になればと、春と秋の年2回行っています。本年2回目となる11月7日（月）正副区長、支所職員と住自協事務局の総勢15名で大岡地区の竹林整備のお手伝いをしました。

竹林の日当たりをよくするため、竹を伐採して片付ける作業です。天候にも恵まれスムーズに終わり、大岡地区の皆様には喜んでいただけました。

高齢化が進み、若者が少ない地区で、里山を守っていくには大変なことであると感じた一日でした。



傾斜地の作業もあり大変



「まちづくり推進協議会総会」

令和4年度まちづくり推進協議会の総会を7月21日（木）に開催しました。

協議事項は次のとおりです。

1. 令和3年度活動報告について
2. 令和4年度役員改選について
3. 「広域ごみ焼却施設建設に伴う地区要望」の進捗状況について
4. 旧清掃センター跡地の埋設廃棄物と公園整備に係る、経緯と対応について

以下、協議事項「3」「4」について報告いたします（概要）



3：「広域ごみ焼却施設建設に伴う地区要望」の進捗状況について（通称 55 項目と呼ばれているものです）

進捗状況として件数の報告

	完了したもの	継続中のもの ()は進行中のもの	その他(※)
道路改良関係 [17 項目]	5	11 (6)	1
地域公民館整備関係 [12 項目]	10		2
治水施設整備関係 [4 項目]	3	1 (1)	
周辺整備関係 [5 項目]	2	3 (2)	
公園整備関係 [5 項目]	4	1 (0)	
防災設備関係 [4 項目]	4		
その他 [8 項目]	3	2 (1)	3

(※) 地元との協議により実施しない事業、市の回答どおり実施が困難な事業又は取り下げた事業等

4：旧清掃センター跡地の埋設廃棄物と公園整備に係る、経緯と対応について

長野市からの回答は次のとおりです。

【本市の現状及び今後の見通しについて】（報告書の要約）

令和元年東日本台風災害については、長野市災害復興計画（期間：令和 2 年～6 年度）に基づく公共施設整備等が着実に進捗している。一方、新型コロナウイルス感染症については、感染拡大を警戒しつつ万全の対応を図っていく必要がある。また、長期にわたるコロナ禍の影響により、傷んだ地域経済や市民生活の回復に向けた施策について全力を挙げて取り組んでいる。これらの対応がいつまで必要となるか、財政面への影響を含め、現段階では見通すことが困難な状況にある。

しかしながら、これまで築き上げてきた信頼関係を損なうことなく、対応していくことが極めて重要と考えている。このため、今年度は廃棄物処理に向けた試掘調査を行い、廃棄物の内容やその割合の把握と共に比重の測定を行う予定。分析等も年内には終えるよう進める。その結果に基づき今後の処理方法や工程等の検討を行う。

調査の進捗状況等については、逐次説明し協議を重ねながら真摯に対応していく。

時期見通し等については、今しばらく猶予をお願いしたい。



大豆島に 咲かせよう 思いやりの花

第 51 回大豆島地区人権同和教育推進住民大会 11 月 13 日（日）

恒例のこの大会は、あらゆる差別や偏見のない明るく住みよい大豆島地区を目指し、地域の皆さんに人権について考えていただく機会として半世紀にわたり続いている歴史ある大会です。

新型コロナウイルス感染の影響が今年も続いています、対策を講じたうえでの開催となりました。人権教育標語は、大豆島小学校・犀陵中学校の優秀賞作品と入選作品の 31 点が紹介され、当日は優秀賞の表彰が行われました。

講演会は長野県人権同和教育推進協議会事務局長の清水稔様に「やっぱり人権同和教育は大切です！」との演題で講演していただきました。参集者の皆さんも熱心に耳をかたむけ、人権問題について考える良い機会となりました。

コロナ感染が収束した折には、以前のように多くの地区内の皆さんに参加していただきたいと願っています。

※人権教育標語は当協議会ブログ（表紙上記アドレス）にも掲載しました。



人権教育標語優秀賞表彰式

